



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 エスケー化研株式会社
 コード番号 4628 URL <https://www.sk-kaken.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 実広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 竹内 正博

TEL 072-621-7720

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	50,613	11.9	6,036	15.7	5,623	14.0	3,933	13.8
2019年3月期第2四半期	45,237	0.5	5,215	5.1	6,542	9.4	4,565	11.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3,594百万円 (11.3%) 2019年3月期第2四半期 4,053百万円 (8.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	1,458.91	
2019年3月期第2四半期	1,693.06	

当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	136,337	112,592	82.6
2019年3月期	132,817	109,945	82.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 112,592百万円 2019年3月期 109,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		350.00	
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				350.00	350.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した1株当たり年間配当額は、2019年3月期は350円となります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	5.2	11,900	3.9	12,200	4.7	8,540	9.7	3,167.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	3,134,777 株	2019年3月期	3,134,777 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	438,447 株	2019年3月期	438,371 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,696,378 株	2019年3月期2Q	2,696,419 株

当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴い個人消費の持ち直しや消費税増税による一部駆け込み需要もあり、総じて緩やかな景気回復基調が続いておりますが、一方で、米中間の貿易摩擦問題の長期化による経済への影響、中国をはじめとするアジア新興国経済の鈍化の与える影響が懸念される等、先行き不透明な状況が続いております。

建築塗料業界におきましては、都市部や首都圏を中心とした大規模再開発やインバウンドによる宿泊施設等の需要が進行しております。しかし一方、建築現場の慢性的な労務者不足による工事の遅れ、需給バランスの崩れ、建築費・人件費の高騰等厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、引き続き、新築市場だけではなく膨大なストックを有するリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、都市グリーン化推進や地球温暖化現象に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆材・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績といたしましては、売上高は506億13百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。利益面におきましては、経費削減を行い、営業利益は60億36百万円（同15.7%増）、経常利益は為替変動の影響等により56億23百万円（同14.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は39億33百万円（同13.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、新築需要が減少いたしました。リノベーション市場において超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行ったことにより、売上高は456億33百万円（同10.9%増）と前四半期連結累計期間に比べて44億91百万円の増収となりました。セグメント利益は66億46百万円（同11.1%増）と前四半期連結累計期間に比べて6億64百万円の増益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、首都圏、都市部の再開発事業における受注が拡大しており、売上高は40億14百万円（同26.2%増）と前四半期連結累計期間に比べて8億32百万円の増収となりました。セグメント利益は4億47百万円（同37.5%増）と前四半期連結累計期間に比べて1億21百万円の増益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は9億65百万円（同5.7%増）と前四半期連結累計期間に比べて51百万円の増収となりました。セグメント利益は89百万円（同53.2%増）と前四半期連結累計期間に比べて31百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて35億19百万円増加し、1,363億37百万円（前連結会計年度末比2.7%増）となりました。

増加した主なものは、現金及び預金26億82百万円（同3.1%増）、受取手形及び売掛金11億65百万円（同5.6%増）であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて8億73百万円増加し、237億45百万円（同3.8%増）となりました。

増加した主なものは、未払金6億57百万円（同10.9%増）、支払手形及び買掛金4億56百万円（同7.7%増）、減少した主なものは、未払法人税等3億91百万円（同18.2%減）であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて26億46百万円増加し、1,125億92百万円（同2.4%増）となりました。

増加した主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益を含む利益剰余金29億90百万円（同2.6%増）、減少した主なものは、為替換算調整勘定3億48百万円（同87.6%減）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、計画通り推移しており、2019年5月13日に公表しました2020年3月期の連結業績予想通期に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,971	89,653
受取手形及び売掛金	20,766	21,931
商品及び製品	1,971	1,738
仕掛品	1,000	1,039
未成工事支出金	318	387
原材料及び貯蔵品	4,086	4,141
その他	558	579
貸倒引当金	△73	△75
流動資産合計	115,599	119,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,803	3,693
機械装置及び運搬具(純額)	287	252
土地	8,089	8,251
建設仮勘定	35	27
その他(純額)	66	63
有形固定資産合計	12,282	12,288
無形固定資産	857	834
投資その他の資産		
投資有価証券	12	12
繰延税金資産	810	775
退職給付に係る資産	743	833
その他	2,654	2,335
貸倒引当金	△142	△138
投資その他の資産合計	4,078	3,819
固定資産合計	17,218	16,941
資産合計	132,817	136,337

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,940	6,396
短期借入金	3,064	3,127
未払金	6,018	6,675
未払法人税等	2,151	1,759
賞与引当金	1,500	1,561
役員賞与引当金	81	40
製品保証引当金	54	55
その他	1,378	1,385
流動負債合計	20,188	21,001
固定負債		
預り保証金	1,313	1,366
繰延税金負債	63	54
役員退職慰労引当金	1,157	1,169
退職給付に係る負債	142	147
その他	6	5
固定負債合計	2,683	2,743
負債合計	22,872	23,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	113,282	116,272
自己株式	△9,513	△9,517
株主資本合計	109,567	112,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	397	49
退職給付に係る調整累計額	△20	△11
その他の包括利益累計額合計	377	37
純資産合計	109,945	112,592
負債純資産合計	132,817	136,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	45,237	50,613
売上原価	31,507	35,592
売上総利益	13,730	15,020
販売費及び一般管理費	8,514	8,983
営業利益	5,215	6,036
営業外収益		
受取利息	169	270
受取配当金	0	0
仕入割引	35	35
為替差益	1,058	—
雑収入	71	43
営業外収益合計	1,335	350
営業外費用		
支払利息	4	4
売上割引	1	1
為替差損	—	754
雑損失	2	3
営業外費用合計	8	763
経常利益	6,542	5,623
税金等調整前四半期純利益	6,542	5,623
法人税、住民税及び事業税	1,948	1,665
法人税等調整額	28	23
法人税等合計	1,976	1,689
四半期純利益	4,565	3,933
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,565	3,933

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	4,565	3,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	△518	△348
退職給付に係る調整額	7	8
その他の包括利益合計	△511	△339
四半期包括利益	4,053	3,594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,053	3,594
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,542	5,623
減価償却費	252	205
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△75	63
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△33	△40
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	0	4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12	12
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	5	1
受取利息及び受取配当金	△169	△270
支払利息	4	4
為替差損益 (△は益)	△1,041	741
固定資産除売却損益 (△は益)	△17	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△608	△1,215
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△493	28
仕入債務の増減額 (△は減少)	427	481
その他	6	568
小計	4,793	6,211
利息及び配当金の受取額	114	303
利息の支払額	△4	△4
法人税等の支払額	△1,422	△2,003
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,481	4,506
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,768	△14,547
定期預金の払戻による収入	4,326	13,091
固定資産の取得による支出	△64	△197
固定資産の売却による収入	225	0
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	4	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,276	△1,662
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000	1,129
短期借入金の返済による支出	△1,030	△1,000
自己株式の取得による支出	△0	△3
配当金の支払額	△874	△942
財務活動によるキャッシュ・フロー	△904	△817
現金及び現金同等物に係る換算差額	615	△568
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,085	1,457
現金及び現金同等物の期首残高	62,679	60,535
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,594	61,993

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	41,141	3,182	44,323	913	45,237	—	45,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	1	△1	—
計	41,141	3,182	44,323	914	45,238	△1	45,237
セグメント利益	5,981	325	6,306	58	6,365	△1,149	5,215

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,150百万円、セグメント間取引消去0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	45,633	4,014	49,647	965	50,613	—	50,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	0	△0	—
計	45,633	4,014	49,647	966	50,614	△0	50,613
セグメント利益	6,646	447	7,093	89	7,183	△1,146	6,036

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,147百万円、セグメント間取引消去0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。